

平成28年度第4四半期「景気動向調査」結果報告

両業種とも後退感が残るも製造業は回復の見通し

コメント:

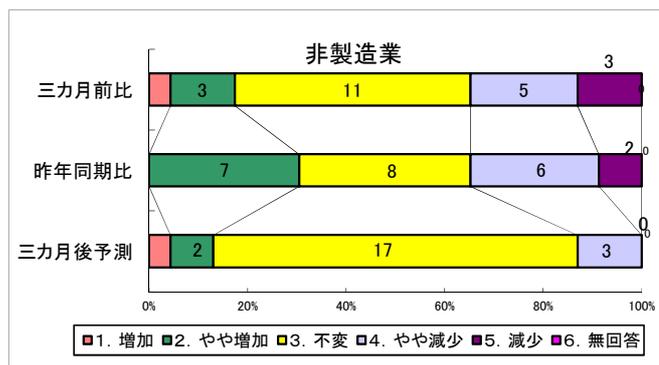
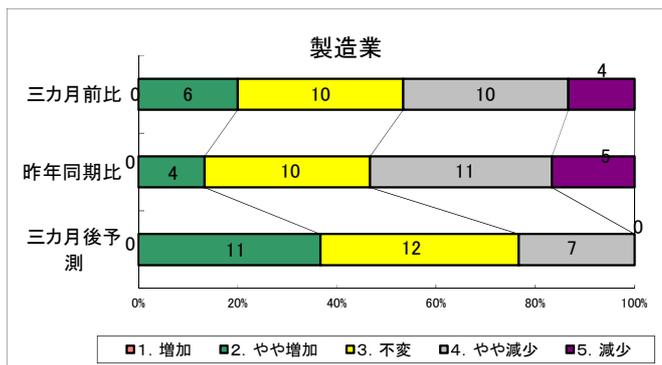
【製造業】

売上高に関しては対三カ月前比と対前年比ではマイナス値で厳しい状況が続く。対前年比においては▲21.9から18.1悪化し▲40.0にまで下落した。依然厳しい状況が続く一方で、三カ月後予測では▲12.5から25.8回復し13.3に改善した。2期連続での回復に加え、プラス値にまで改善。三カ月後の見通しが良く、次回の調査が期待される。景況感に関しても対三カ月前比と対前年比ではマイナス値で、三カ月後予測ではプラス値であった。対三カ月前比と対前年比は前期調査よりも回復しており、後退感も売上高ほど強くない。数値は回復しているものの低い水準での推移であり、いまだ不安感は拭えない。

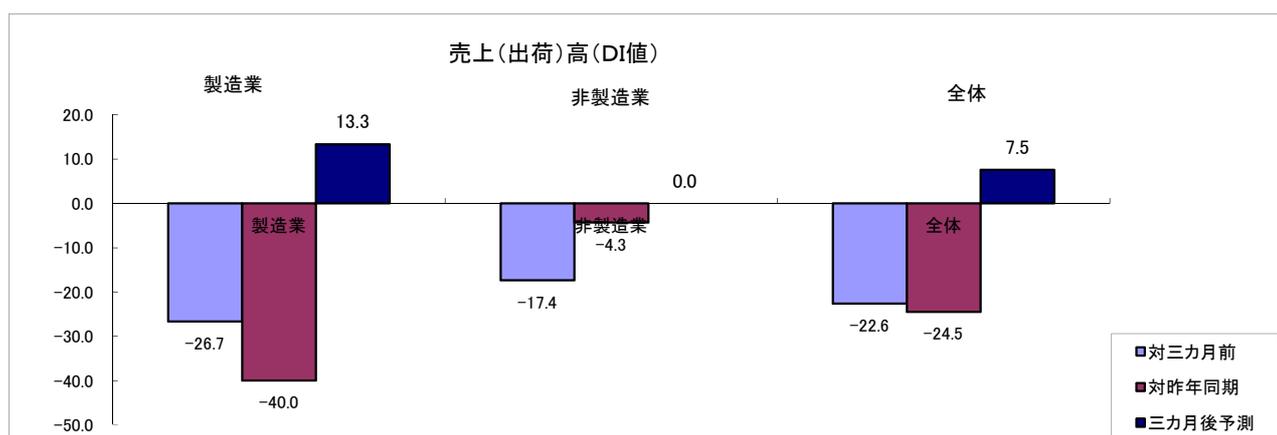
【非製造業】

売上高に関しては対三カ月前比で悪化しているが、対前年比と三カ月後予測で回復している。対三カ月前比と対前年比ではマイナス値であるものの、製造業ほど数値が低くない。ここからプラス値へ転じていけるか今後の調査が期待される。一方で、景況感に関しては売上高とは反対に数値が低く、前期調査より悪化している。三カ月後予測では▲5.0から12.4悪化し▲17.4に下落した。製造業とは反対に厳しい見通しとなった。

1. 貴社の売上(出荷)額について



DI値	対三カ月前	対昨年同期	三カ月後予測	対三カ月前 (前回)	対昨年同期 (前回)	三カ月後予測 (前回)
製造業	-26.7	-40.0	13.3	-31.3	-21.9	-12.5
非製造業	-17.4	-4.3	0.0	-10.0	-10.0	-20.0
全体	-22.6	-24.5	7.5	-23.1	-17.3	-15.4

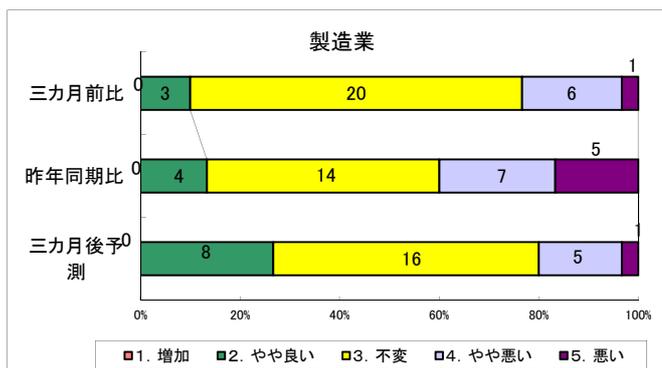


対三カ月前比において、製造業ではDI値が▲31.3から4.6回復し▲26.7に改善した。悪化幅が大きかった前期調査から一転して回復する結果になった。非製造業では▲10.0から7.4悪化し▲17.4に下落した。

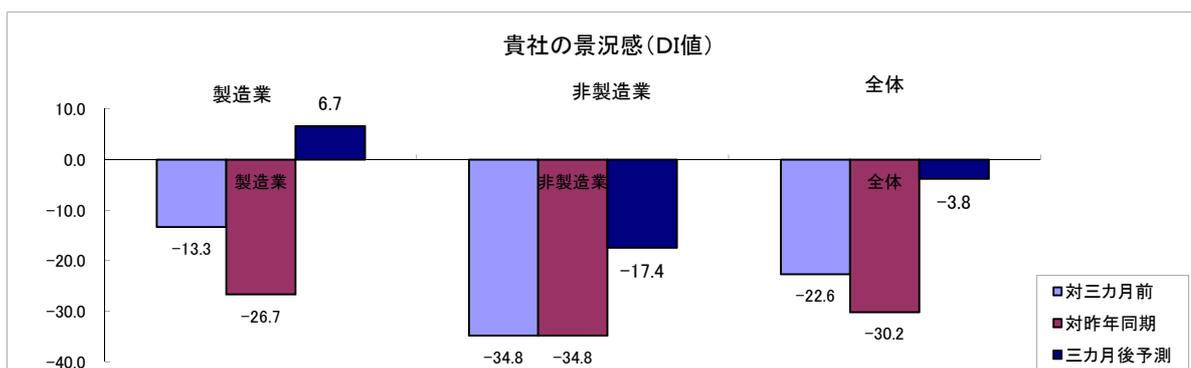
対前年比において、製造業では▲21.9から18.1悪化し▲40.0に下落した。大幅なマイナス値を指しており、依然厳しい状況である。非製造業では▲10.0から5.7回復し▲4.3に改善した。2期連続の悪化から一転して回復する結果になった。製造業と非製造業で値に差がでる結果になった。

三カ月後予測において、製造業では▲12.5から25.8回復し13.3に改善した。2期連続での回復に加え、プラス値にまで改善。三カ月後の見通しが良く次回の調査が期待される。非製造業では▲20.0から20.0回復し0.0に改善した。「不変」が最多回答で、23社中17社が回答。

2. 貴社の景況感について



DI値	対三カ月前	対昨年同期	三カ月後予測	対三カ月前 (前回)	対昨年同期 (前回)	三カ月後予測 (前回)
製造業	-13.3	-26.7	6.7	-34.4	-40.6	12.5
非製造業	-34.8	-34.8	-17.4	-25.0	-35.0	-5.0
全体	-22.6	-30.2	-3.8	-30.8	-38.5	5.8



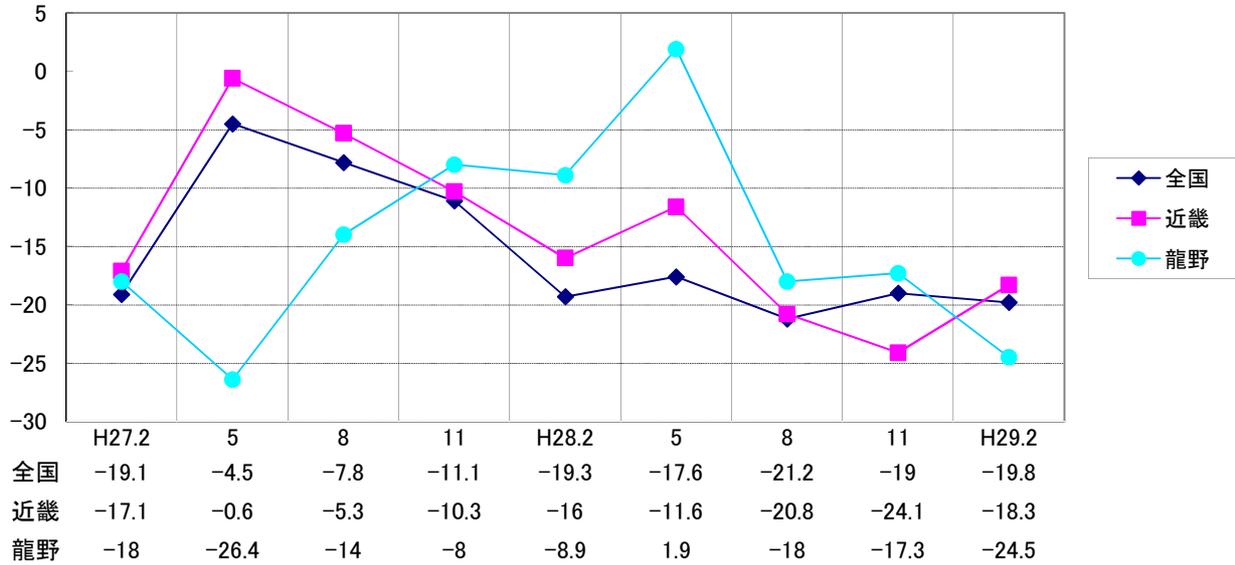
対三カ月前比において、製造業ではDI値が▲34.4から21.1回復し▲13.3と改善した。2期連続の回復となり、プラス値に転じていけるか今後の調査が期待される。非製造業では▲25.0から9.8悪化し▲34.8に下落した。数値も低く、依然厳しい状況が続く。

対前年比において、製造業では▲40.6から13.9回復し▲26.7に改善した。3期連続の悪化に歯止めをかけた。非製造業では▲35.0から0.2回復し▲34.8とやや改善した。両業種とも回復しているが、いまだマイナス値であり予断を許さぬ厳しい状況である。

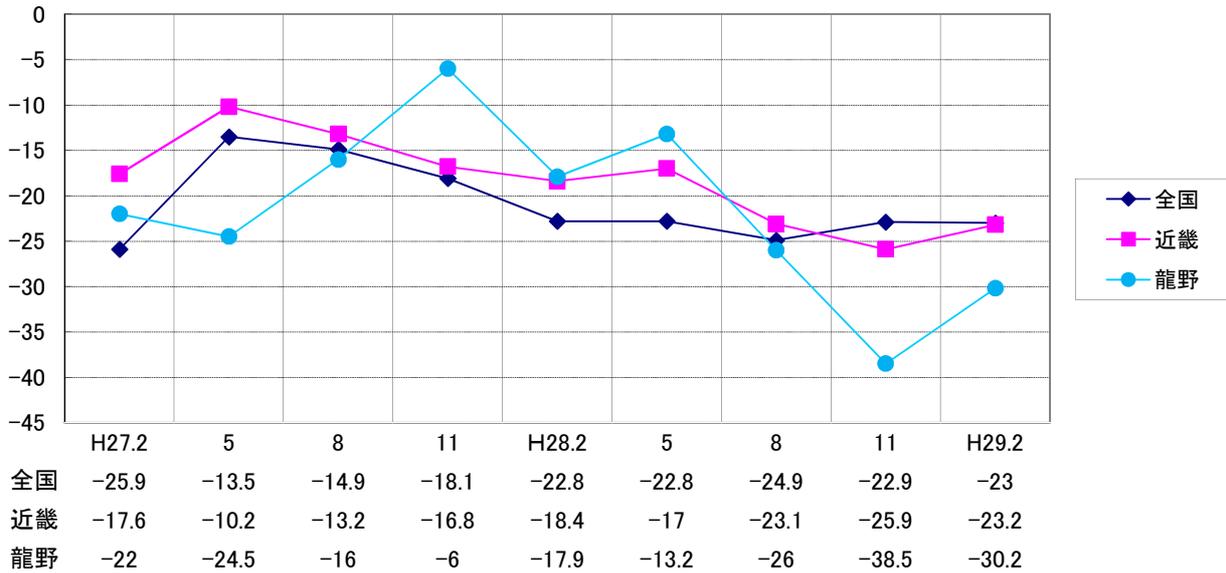
三カ月後予測において、製造業では12.5から5.8悪化し6.7に下落した。前回より悪化しているものの売上高同様プラス値であり、今後の景気動向に期待が高まる。非製造業では▲5.0から12.4悪化し▲17.4に下落した。製造業とは反対に厳しい見通しとなった。

全国・近畿ブロック調査との比較

売上(出荷)額 対前年比



景況感 対前年比



全国・近畿ブロック別調査……………日本商工会議所実施のLOBO(早期景気観測)調査
 ※H29. 2の数値は1月度実施分を掲載

調査概要

1. 調査目的 四半期ごとに景気動向調査を実施し、管内景況を恒常的に把握する。
調査を実施し恒常的に管内景況を把握する。
2. 調査期間 平成29年1月23日～2月3日(基準日2月1日)
3. 調査方法 FAXにより依頼、回答
4. 調査対象 各役員議員、部会役員 118社

※DI値＝「好調＋やや好調」(持ち直す)の回答割合から「悪い＋やや悪い」(悪化する)の回答割合を差し引いたもの。数値が高いほど景況感が良く、低いほど悪い。
プラス100が最高値、0が平均、マイナス100が最低値を示す。

5. 対象企業の属性

所属部会	対象数
一般工業	23
建設業	14
醤油工業	7
食品工業	12
皮革工業	15
公益業	16
サービス業	8
理財	8
商業	15
合計	118

調査対象	対象数	回答数	回答率
製造業	71	30	42.3%
非製造業	47	23	48.9%
合計	118	53	44.9%